

石狩湾系ニシンの漁況予測

北海道立総合研究機構 中央・稚内水産試験場

平成24年11月15日

平成25年1～4月における、石狩湾系ニシンの漁況を以下のように予測する。

【予測】

1. 漁獲量は2008年並となる。
2. 魚体は、4年魚（2009年級）が主体。
3. 来遊のピークは2月となる。

【説明】

近年（2009～2012年）の好漁を支えた2006年級は、漁獲および自然死亡によって資源尾数の減少がすすみ、代わって2009年級（4年魚）が漁獲の主体となり、それに2010年級（3年魚）が混じるものと考えられる。しかし新たに漁獲対象となる2010年級は、秋期のトロール調査での採集数が2009年級に及ばないことから（下図）、漁獲量の増大への寄与は大きくないと考えられる。2013年に来遊が予想される4年魚および3年魚の資源重量の予測値は2008年のそれに近いことから、ニシン漁獲量は2008年並と考えられる。

沿岸の刺し網漁業では、産卵のために来遊する親魚を対象としている。その来遊は魚体が大きなものほど早く、小さいものほど遅い傾向がある。来遊時期には水温をはじめとする環境条件も影響するものの、2013年は前述の通り4年魚が主体となることから、基本的な盛漁期は2月となると推察される。

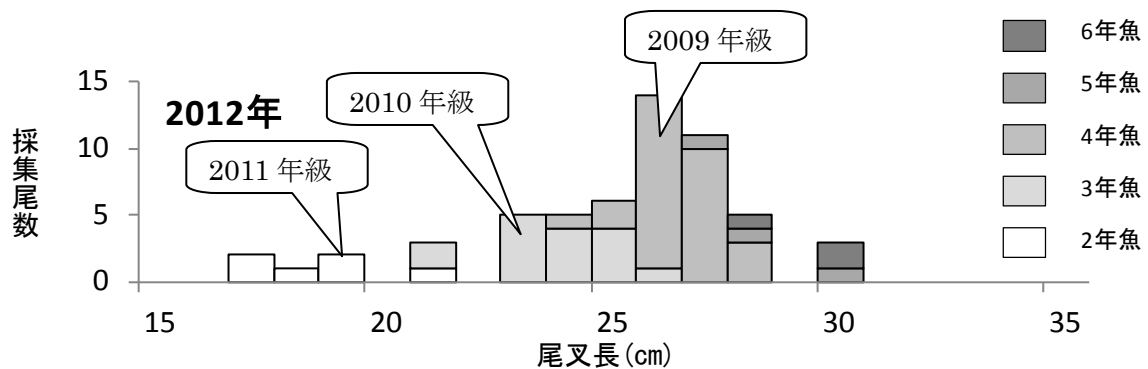


図 2012年秋期に試験調査船「北洋丸」で採集されたニシンの年齢別尾叉長組成